

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会
令和6年度第2回（第52回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和6年10月8日（火）中央合同庁舎第8号館 特別中会議室
委 員	委員長 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委 員 大森 明※ （横浜国立大学経営学部長） 委 員 市毛 由美子 （弁護士） 委 員 金井 睦美 （公認会計士） 委 員 寺田 麻佑 （一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授） ※ 当番委員
議 事	令和6年度第1四半期の契約に係る審議

○令和6年度第1四半期の契約に係る審議		
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年6月30日	
対象案件の説明	○対象期間における契約件数（内閣官房179件・内閣法制局5件・内閣府本府550件）について事務局から説明 ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が低くなった案件について、その理由及び履行状況を確認する。 ・落札率が高く、かつ1者応札となった案件について、その理由を確認する。 ・総合評価方式における評価点の配分比重（価格点と技術点の割合バランス）について確認する。 さらに以下の観点から各案件を抽出した。	
審議抽出案件	4件	
【一般競争入札】 最低価格落札方式	（内閣官房）1件 （関心事項） ・入札金額内訳に人件費の計上 がなく適切なコスト計算と言え るのか。	契約件名：弾道ミサイル飛来時の避難行動や避難施設等に係る検索広告 掲載業務 契約相手：（株）ビー・アンド・ディー 契約金額：742,500円 契 約 日：令和6年6月3日 担当部局：副長官補（事態対処・危機管理）
【一般競争入札】 総合評価落札方式	（内閣官房）1件 （関心事項） ・評価点の配分比重	契約件名：令和6年度サイバー攻撃被害のリスク対策の高度化に関する 調査研究 契約相手：パシフィックコンサルタンツ（株） 契約金額：22,000,000円 契 約 日：令和6年6月14日 担当部局：内閣サイバーセキュリティセンター
【一般競争入札】 最低価格落札方式	（内閣府）1件 （関心事項） ・一者応札となった理由	契約件名：内閣府本府庁舎等の廃棄物処理業務 契約相手：（株）イゾイ 契約金額：35,796,800円 契 約 日：令和6年4月1日 担当部局：大臣官房会計課
【一般競争入札】 総合評価落札方式	（内閣府）1件 （関心事項） ・予定価格の作成方法 ・評価点の配分比重	契約件名：地方公共団体による成果連動型民間委託契約方式（PFS）に 係る事業案件形成支援等業務 契約相手：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株） 契約金額：13,728,000円 契 約 日：令和6年6月25日 担当部局：政策統括官（経済社会システム）
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

○その他
－

別紙

意 見 ・ 質 問	回 答
1 弾道ミサイル飛来時の避難行動や避難施設等に係る検索広告掲載業務	
落札率が極めて低いが、入札金額内訳書に人件費の計上がないなど、適切なコスト計算に基づく入札と見るのは難しいのではないかと。	見積もりを取った業者や落札業者からも類似の業務実績を勘案して積算されたものと確認しており、適正に見積もりをして入札されたものと考えている。請負契約全般においては成果を達成すれば契約としては成立するものと理解しており、落札額の内訳中の人件費には留意していなかった。内訳も含めて業務履行が可能かどうかチェックできるよう、低入札の際の確認について検討していきたい。
2 令和6年度 サイバー攻撃被害のリスク対策の高度化に関する調査研究	
技術評価点の配分比重、基礎点を高くするなどの工夫ができないのか確認したい。	よりよい提案を採用するため技術評価における基礎点よりも加算点を広くしている。発注者の求める技術レベルが正しく伝わるよう、仕様書の作成において工夫できるところがないか検討していきたい。
低入札に関するヒアリングにおいて、落札業者は再委託先が信頼できるのかの疑義に対し十分な回答がないように見受けられるが、妥当と判断した根拠を確認したい。	再委託先の体制において知見者を配置するのみでなく、当該分野に強い有識者とコネクションもあり会議を開催することもできるため妥当と判断した。
3 内閣府本府庁舎等の廃棄物処理業務	
一者応札となった理由について確認したい。	落札業者は千代田区の上限設定よりもかなり安価な金額で業務に当たっている。入札結果が公表されており、落札金額からキログラム当たりの処理料が必然的に計算可能であるため、他の業者が参加しづらいと分析している。
4 地方公共団体による成果連動型民間委託契約方式(P F S)に係る事業案件形成支援等業務	
4者中3者が価格点で不合格となっているため予定価格の作成方法が適切であったか確認したい。	予定価格は、予算額を踏まえた上で市場価格等を参考に作成している。
技術評価点の配分比重について確認したい。	落札業者の技術点は4者中3番手であり、上位2者については仕様で求めている内容以上の独自提案があったため加算されている。価格点で不合格となった業者は仕様に対しオーバークオリティとなっていた可能性もあるので、今後は仕様書の作成において金額に見合った内容にするなど工夫していきたい。
○その他	
-	